

今回のテーマは「自然観察」

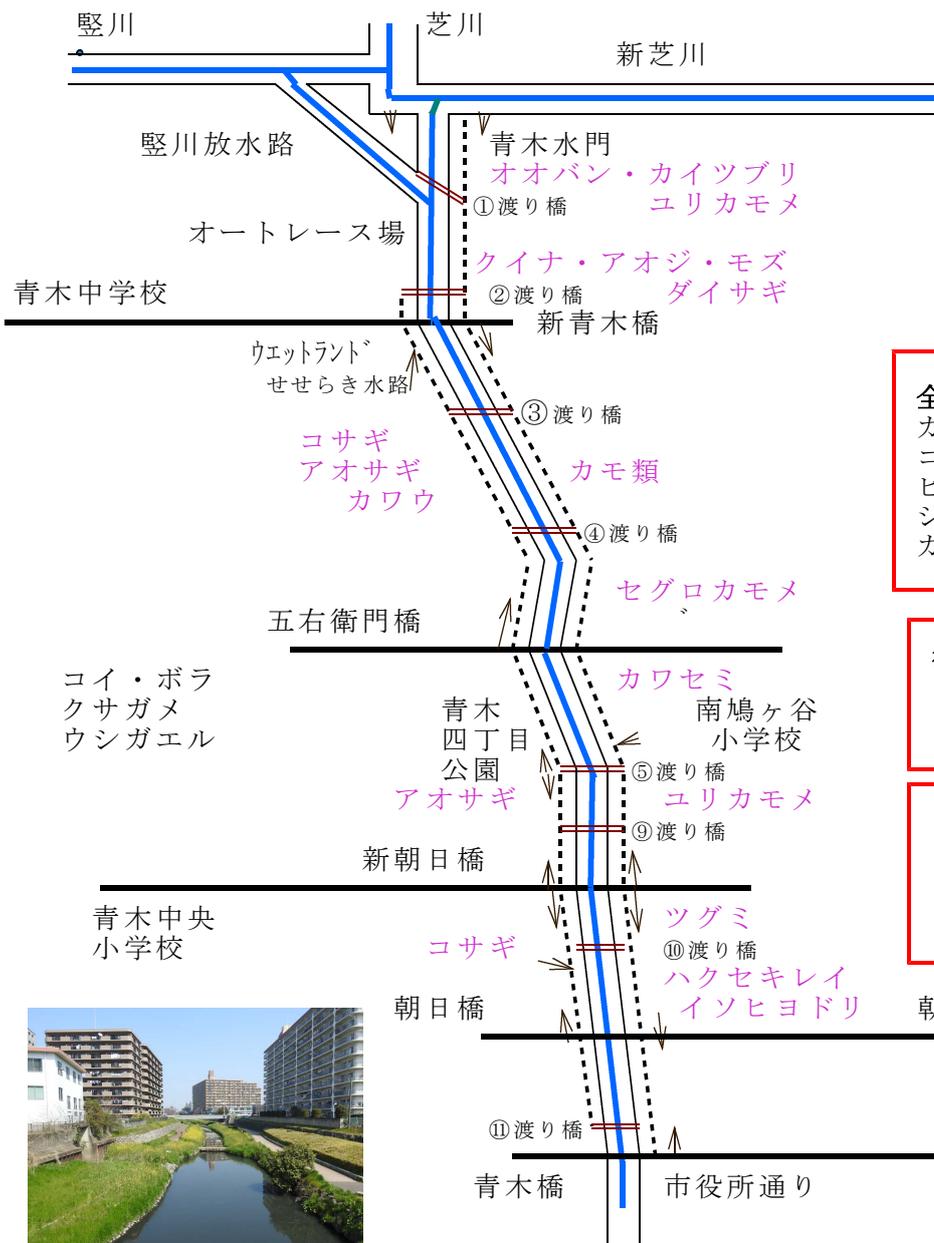
活用範囲 小学校から中学校まで
観察可能時期 11月～2月

「芝川遊歩道での野鳥観察」～街中でも野鳥観察ができる～

平成20年から、(旧)芝川の再生事業として、芝川の青木水門から旧芝川の青木橋までの約2kmにわたり「子どもたちが川の中に入って遊べるような河川環境の創出」を目標にして、様々な水の浄化のための仕組みが施されて、遊歩道も整備されました。最近では植生も安定してきて自然が戻ってきています。冬にはカモ類等の渡り鳥もたくさんいるようになりました。水鳥も間近に見られるので双眼鏡がなくてもたやすく観察できる絶好の野鳥観察の場所となっています。



青木水門から下流方向の旧芝川



全流域で見られる野鳥
カワセミ・ハクセキレイ・カワウ
コサギ・アオサギ・ユリカモメ
ヒヨドリ・ムクドリ・ツグミ
ジョウビタキ・シジュウカラ
カワラヒワ・キジバト

観察できるカモ類
カルガモ・ヒドリガモ
コガモ・ハシビロガモ

その他
クイナ・カイツブリ
ダイサギ
セグロカモメ・アオジ
イソヒヨドリ・モズ

朝日運動公園にトイレが有る

十二月田小学校
十二月田中学校

記号

 橋を渡る道路
 遊歩道の橋
 遊歩道
 川
 遊歩道へ入る



青木橋から上流方向の旧芝川

注意：上流で大雨が降ると、青木水門を開けて放水するので、遊歩道よりも水位が上がり、危険です。

野草観察もできますが、年に2回（5月・10月）草刈りが行われます。

観察資料

* 時間：青木水門からの所要時間

場所	時間	見 所	観察できる代表的な野鳥		
青木水門あたり	0分	水門近くの豎川放水路と青木水門からの合流地点では、小さな空間があり集合できる。ユリカモメ、オオバン・カイツブリ、カルガモ。などが見られる			
① 渡り橋 ～ ② 渡り橋	5分 0.6 km	少し下流に歩くと、アシが両岸にはえていて見通しは悪いが、水面にはオオバン、水辺ではクイナ、オオバン、アシの茎にはアオジ、穂の先にはモズなどが見られる			
新青木橋 ～ 五右衛門橋	15分 1 km	なおも下流に行くと、あたりは開けている、ワンドと呼ばれる水たまりがある。カモ類が山見られる。遊歩道がハクセキレイの尾を上下に振って歩いている姿が見られる。カワウが潜って餌をとる姿もみられる。カモ類がペアで泳ぐ姿が見られ、雌を知るにはよい場所である。また、湿地に上がっていると、足の色も確認できる			
五右衛門橋 ～ 新朝日橋 ～ 朝日橋 ～ 青木橋	20分 30分 2 km	このあたりも開けている。ウェットランドと呼ばれる湿地には、ガマがはえていたり、遊歩道は脇には高い木が生えている。アオサギが木にとまっていることが多い。水面を矢のように飛んでいくカワセミが見られる。大きさはスズメくらいである。運がよければ水面近くの木枝などにとまることもある。朝日橋付近では、ワンドがあり、コサギやアオサギが魚を狙っている。ツグミやジョウビタキが柵の手すりにとまっていたりする。運がよければ、イソヒヨドリがいる。青木橋に近づくと両側には高いマンションが並び、橋の下はオナガガモ、コガモが集まっている。ゴイサギがじっと動かずに枝にとまっていることもある。			
					
			